

令和五年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は四問、五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 国語

一

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

※著作権法に基づき掲載は省略します

出典は、山崎吾郎「技術と環境―人はどうやって世界をつくり、みずからをつくりだすのか」(『文化人類学の思考法』(二〇一九年 世界思想社))。
なお、設問の都合上、省略した箇所がある。

語注

- ※1 ベンジャミン・フランクリン……アメリカ合衆国の政治家、物理学者(一七〇六～一七九〇)。
 ※2 アンリ・ベルクソン……フランスの哲学者(一八五九～一九四一)。
 ※3 マルセル・モース……フランスの社会学者、文化人類学者(一八七二～一九五〇)。
 ※4 『生物から見た世界』……原著初版一九三四年。
 ※5 ヤーコプ・フォン・ユクスキュル……ドイツの生物学者、哲学者(一八六四～一九四四)。

問一 傍線部②「ヒョウショウ」、③「ハアク」のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部①「サルやチンパンジーもまた、石や棒といった単純な道具を用い、さらにはその使い方を工夫したり伝達したりする」とあるが、道具との関係において人がサルやチンパンジーと異なるのはどのような点か。本文中の言葉を用いて答えよ。

問三 空欄 A、B に入る言葉を、それぞれ本文中から漢字二字でそのまま抜き出して答えよ。

問四 空欄 C、D に当てはまる言葉として最も適当なものはどれか。それぞれ次のア～カの中から一つ選び、記号で答えよ。ただし、同じ記号は二度使えないものとする。

ア だから イ しかし ウ さらに エ たとえば オ そして カ むしろ

問五 傍線部④「人と技術は、何重にも折り重なった相互的因果の連鎖のなかでしかとらえることができない存在なのである」とあるが、そのように言えるのはなぜか。五十五字以内で答えよ。

問六 傍線部⑤「潜在的な場」とあるが、これはどういうことか。「潜在的な場」に関して説明した次の文の空欄に入る言葉を、本文中から六字でそのまま抜き出して答えよ。

「世界そのもの」は、仮に存在しているとしても、それ自体を知覚することはできないため、【 】
 しかできない。

問七 傍線部⑥「人は、その最初期からすでに、技術的環世界を生きてきたのだ」とあるが、「技術的環世界を生きてきた」とはどういうことか。七十字以内で答えよ。

問八 この文章の表現や構成に関する説明として最も適当なものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア アンリ・ベルクソンの定義を取り入れることによって、道具の製作や使用に際して、人間の知能が他の動物と比べていかに優れているかを明示し、次のマルセル・モースの技術論へと展開している。

イ 技術の特性について述べるにあたり、技術と対立する「身体技法」に意図的に「」（カギ括弧）を付けることにより、技術が人間の目的達成のために欠かせないものであることを強調している。

ウ 「環世界」という概念を導入することによって、人、技術、環境の関係性が明確になり、我々が身体及び技術を通して世界との関係を構築しているということを読者がイメージしやすくなっている。

エ 『生物からみた世界』にあるマダニの例を示すことによって、われわれ人間は言語によって世界を再構成していること、及び技術がなければ世界を認識できないという筆者の主張を導き出している。

オ 「ヒト」などのように、カタカナを多用して情を排した無機質な印象を読者に与えることによって、筆者の言う技術のイメージと重ね合わせ、技術が単なる便利な道具ではないという主張の客観性を高めている。

二 次の文章は『蜻蛉日記』の一部で、作者が夫である兼家との夫婦生活に嫌気が差し、山寺に籠ろうとする場面である。これを読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

語注

- ※1 「御物忌なれど、御門の下よりも」……兼家の手紙を持ってきた使いの言葉。「物忌」は兼家の物忌。「御門の下よりも」は、作者邸の門の下からそつと渡す。
- ※2 ここに……作者が一ヶ月以上行っていた父の邸宅から自宅にもどったことを指す。後の「ここにゆき帰る」も同様。
- ※3 おぼめくまでなむ……どなたさまからかと思当もつかぬほどでした。
- ※4 西山……京都市西方、衣笠山から嵯峨野一体の総称。
- ※5 上筵……帳台（貴人の寝所・座所）の畳の上に敷く上等の敷物。
- ※6 『身をし変へねば』……「いづくへも身をしかへねば雲懸かる山ぶみしてもとはれざりけり」（仲文集）という歌の一部。
- ※7 前渡り……門前を素通りする。
- ※8 ひたやごもり……ずっと籠もる。
- ※9 とこのうら……「床の裏」に「鳥籠の浦」（滋賀県彦根市）を掛けている。

問一 傍線部①「六月」とあるが、陰暦六月の異称を次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 水無月 イ 文月 ウ 長月 エ 神無月 オ 葉月

問二 波線部A～Eの助動詞「ぬ」について、本文中での意味が「打消」以外のものをすべて選び、A～Eの記号で答えよ。

問三 傍線部②「念じて」、⑥「やがて」、⑧「はやく」の本文中での意味を答えよ。

問四 傍線部③「さらに聞こえず」、④「くやしきこともこそあれ」、⑤「なほしばし身を去りなむ」を現代語訳せよ。

問五 【Ⅰ】、【Ⅱ】の和歌について、和歌には何に対する、どのような心情が表現されているか。それぞれ簡潔に答えよ。

問六 傍線部⑦「幼き人」とあるが、これは『蜻蛉日記』の作者の子のことである。具体的には誰のことか。漢字四字で答えよ。

問七 傍線部⑨「まいて急ぎまさりてものしぬ」とあるが、作者がそのようにしたのはなぜか。夫の手紙の内容を踏まえ、八十五字以内で答えよ。

三

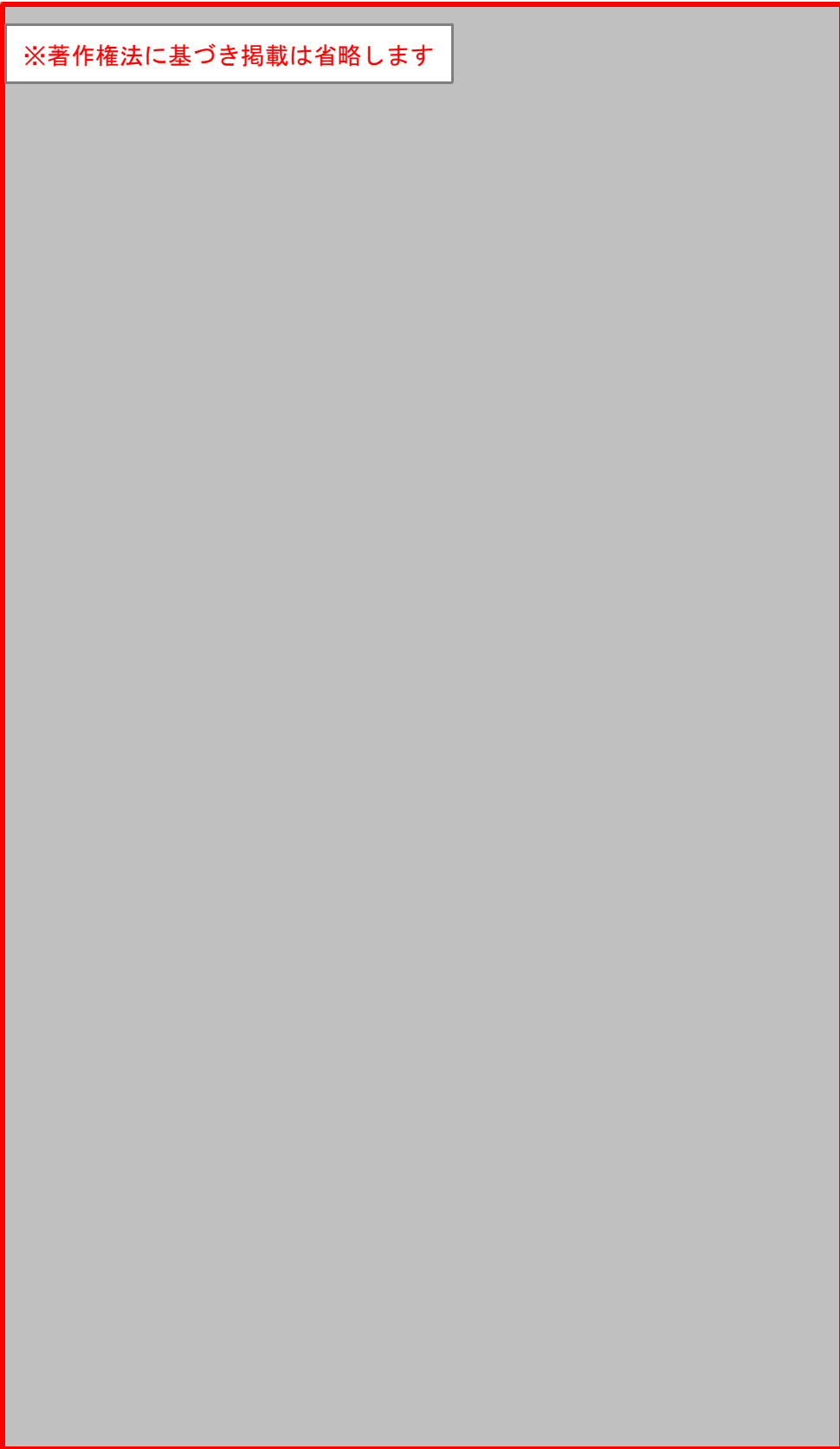
「高等学校学習指導要領」（平成三十年告示）では、情報の扱い方に関する指導の改善、充実が図られた。また、各学校においては、一人一台端末（PC・タブレット）を活用した授業実践に向けての取組みが進められている。これらのことを踏まえ、「現代の国語」において「書くこと」の領域の（1）のア「目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。」について指導するために、あなたはどのような授業を展開していくか。次の1～4の条件に従い、具体的に述べよ。

- | | |
|----|---|
| 条件 | 1 構想する授業の単元名を答えること。
なお、単元は教材の名称ではなく、「……を……しよう」のように、中心となる言語活動の内容を表したものと設定すること。 |
| 2 | 情報の妥当性や信頼性を吟味させるために、どのような学習活動を行うか明記すること。 |
| 3 | 授業の中で一人一台端末（PC・タブレット）を活用する場面を必ず取り入れること。
なお、「二人一台端末を活用して……」のように、活用場面がわかるように答えること。 |
| 4 | 指導時数は四時間とし、具体的な授業展開は、一時間目を①～四時間目を④とする。 |

四

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。

※著作権法に基づき掲載は省略します



出典は「新釈漢文体系 韓非子」(明治書院)。
ただし、表記と訓点を改めた部分がある。

語注

※1 公孫儀……魯国の大臣。

問一 傍線部②「諫」、⑦「雖」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。

問二 傍線部①「一国尽争買魚而献之」、⑤「必有下人之色」、⑧「人不必能給致我魚」を現代語訳せよ。

問三 傍線部③「不受者何也」、⑨「我又不能自給魚」をそれぞれ書き下し文に改めよ。
ただし、③はすべてひらがなで書き下し文にすること。なお、現代仮名遣いとする。

問四 傍線部④「対曰」の会話の内容は、傍線部直後の「夫唯嗜魚」からどこまで続くか。会話の終わりの漢字四字を答えよ。

問五 傍線部⑥「将枉於法」について、「やがて法を曲げるだろう」という意味になるように返り点を施せ(送り仮名は不要)。

問六 公孫儀が魚を受け取らなかったのは、公孫儀のどのような思想によるものか。三十五字以内で答えよ。